

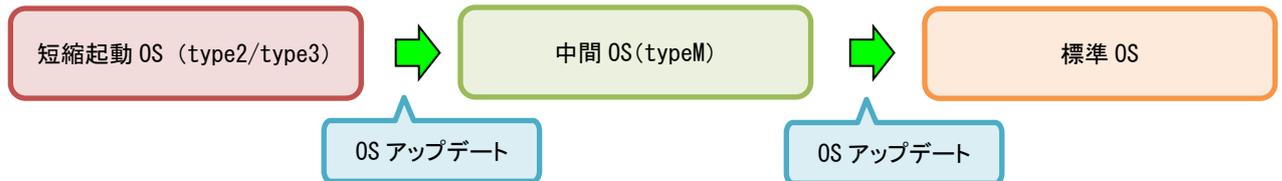
# MONITOUCH

## テクニカルインフォメーション

2023年10月1日

テーマ	短縮起動 OS (type2/type3) を標準 OS に戻す手順		
該当機種	V9 シリーズ	No. TI-M-0105-5	1/6

短縮起動 OS から標準 OS に戻す場合、OS アップデートによる中間 OS への更新後、標準 OS に更新する必要があります。



OS のアップデートには、ストレージ (SD カードまたは USB メモリ)、中間 OS プログラム、V-SFT Ver. 6.1.6.0 以降が必要です。

### 1. 中間 OS (typeM) 更新手順

① 以下のリンクより、中間 OS をダウンロードします。(会員登録とログインが必要です。)

[ダウンロードはこちら](#)

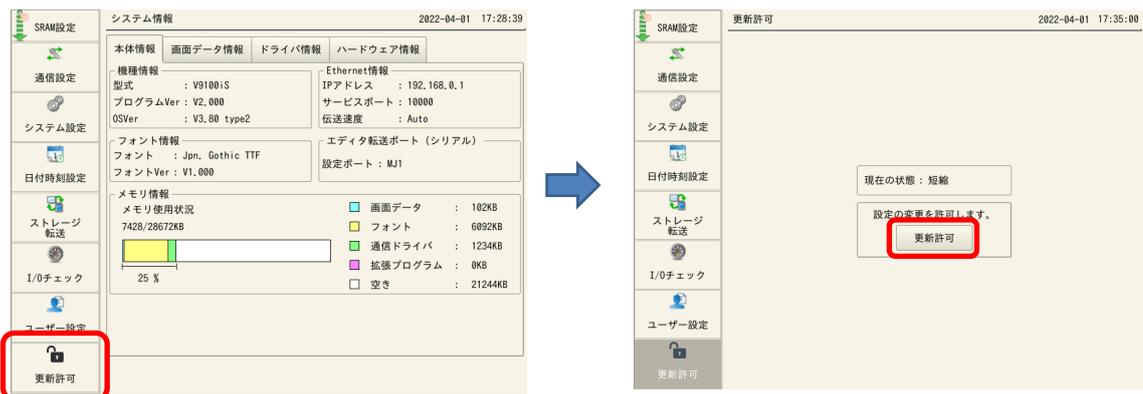
② ダウンロード、解凍した OSUPDATE フォルダをストレージ (SD カード/USB メモリ) に格納します。

③ ストレージを V9 本体に挿入して、V9 の電源を入れます。

④ [SYSTEM] スイッチを押して\* [システムメニュー] を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。ローカル画面に切り替わります。

\* Advanced モデルの場合、画面の四隅の 1ヶ所を 2 秒以上長押し後、別の四隅の 1ヶ所を 2 秒以上長押しすると、[システムメニュー] が表示されます。

⑤ [更新許可] メニュースイッチを押し、[更新許可] スイッチを押します。

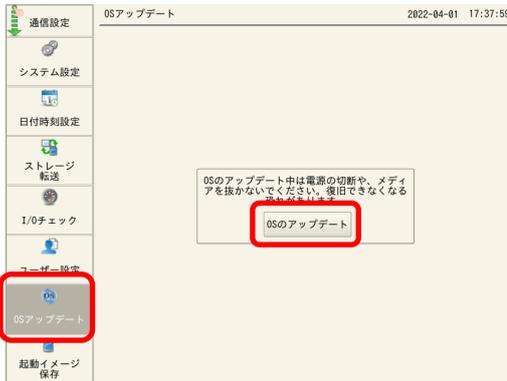


OS type3 の本体で SD カードが未装着の場合、以下の画面が表示されます。

SD カードを装着して、[カード検出] スイッチを押してください。



- ⑥ V9 が再起動します。
- ⑦ [OS アップデート] メニュースイッチを押し、[OS のアップデート] スwitchを押します。





SD カードと USB メモリ両方に OSUPDATE フォルダがある場合、SD カードを優先します。  
SD カードを外すか、SD カード内の OSUPDATE フォルダを削除しておきます。

- ⑧ 以下の確認ダイアログが表示されるので、[実行] スwitchを押します。OS アップデートが開始されます。



- ⑨ V9 が再起動し、画面が5秒程真っ暗になります。



⑩ OS の更新中は、以下の画面が表示されます。



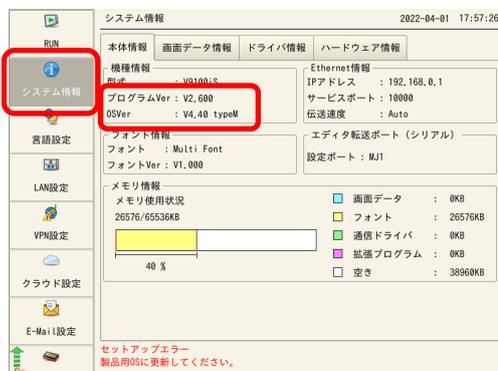
⑪ OS のアップデートが正常に終了すると、以下の画面が表示され、自動的に V9 が再起動します。



⑫ Setup Error 画面が表示されます。[Language Setting]スイッチから [日本語(Japanese)] 表示にします。



⑬ [SYSTEM] スイッチを押して\* [システムメニュー] を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。ローカル画面に切り替わります。「プログラム Ver:V2.600」「OSVer : V4.40 typeM」であることを確認します。



\* Advanced モデルの場合、画面の四隅の1か所を2秒以上長押し後、別の四隅の1ヶ所を2秒以上長押しすると、[システムメニュー] が表示されます。

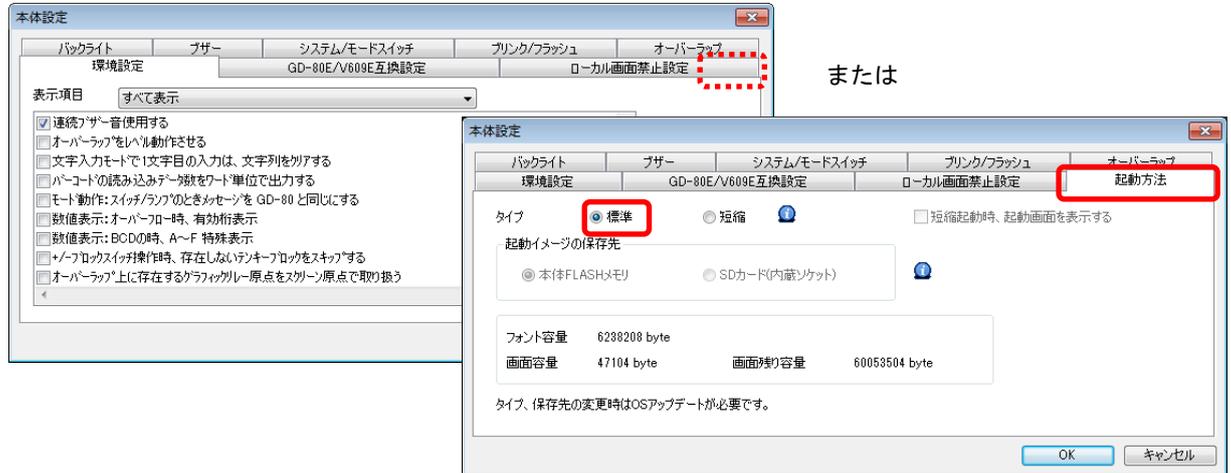


この状態で画面データを転送しても RUN できません。必ず、次の手順で 標準 OS に更新してください。

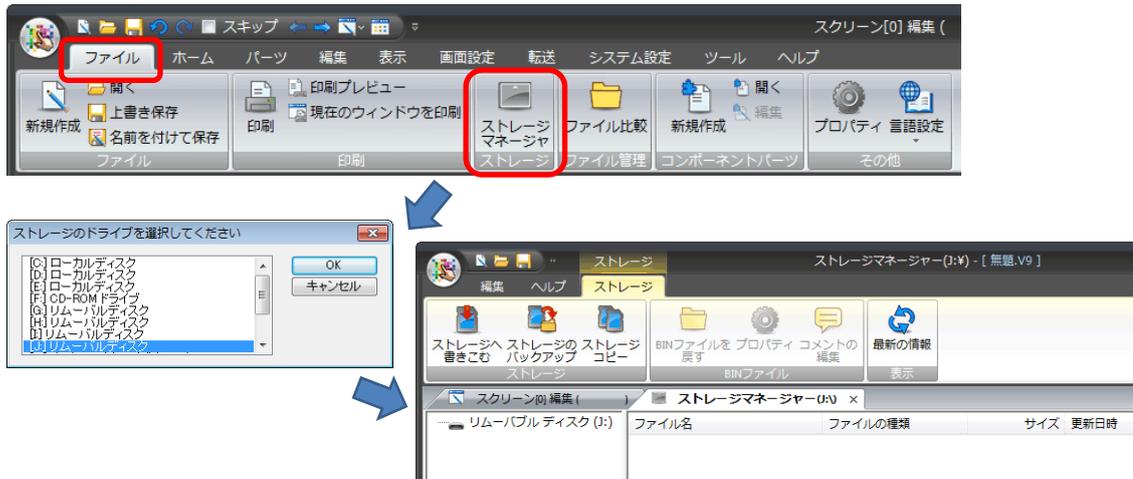
## 2. 標準 OS 更新手順

V-SFT Ver. 6.1.6.0 以降のソフトを使用してください。

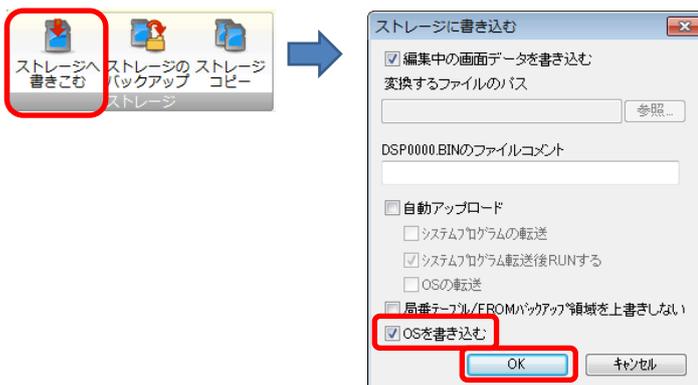
- ① V-SFT を起動して画面データを開きます。
- ② V-SFT の [システム設定] → [本体設定] → [起動方法] タブがないことを確認します。  
[起動方法] タブが表示されている場合、[起動方法] タブで、タイプを「標準」にします。



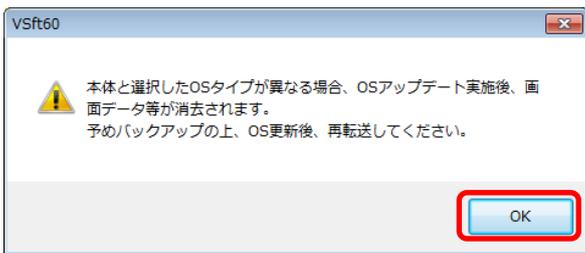
- ③ [ファイル] → [ストレージマネージャ] をクリックします。ドライブを指定するダイアログが表示されます。
- ④ SD カードを挿入しているドライブを指定して [OK] をクリックします。ストレージマネージャが起動します。



- ⑤ [ストレージ] → [ストレージへ書き込む] をクリックします。[ストレージに書き込む] ダイアログが表示されます。[OS を書き込む] にチェックし [OK] をクリックします。

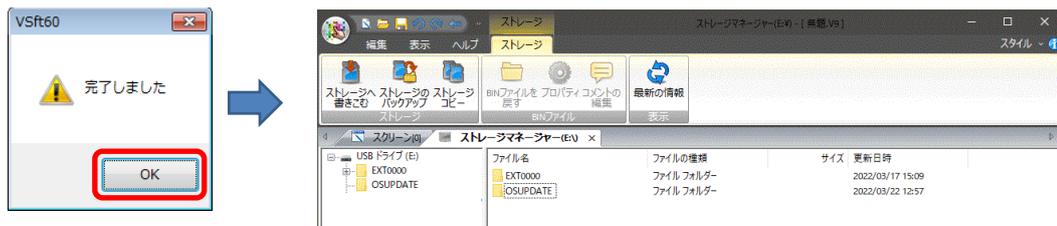


⑥ 以下の確認ダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。

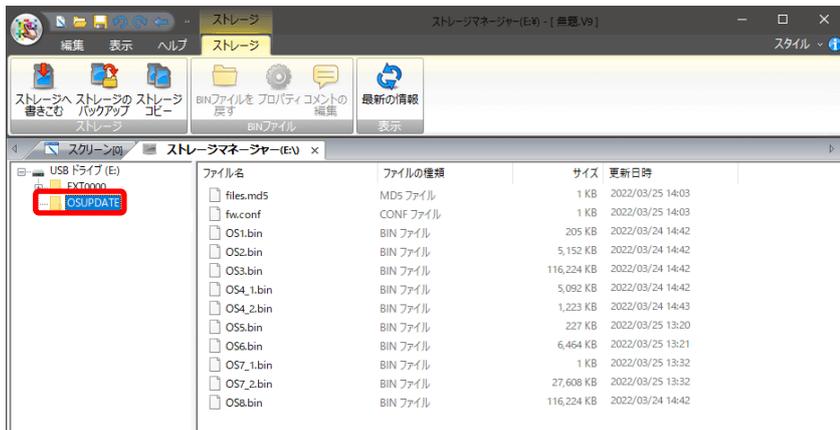


\* [システム設定] → [本体設定] → [起動方法] のタブがある場合のみ表示が出ます。

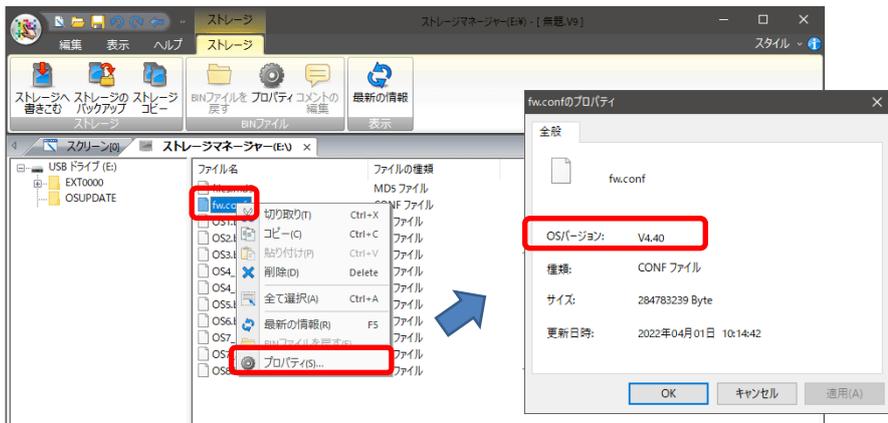
⑦ SD カードへの書込が完了すると、アクセスフォルダ（例 [EXT0000]）と [OSUPDATE] フォルダが表示されます。



[OSUPDATE] フォルダにファイルが保存されます。

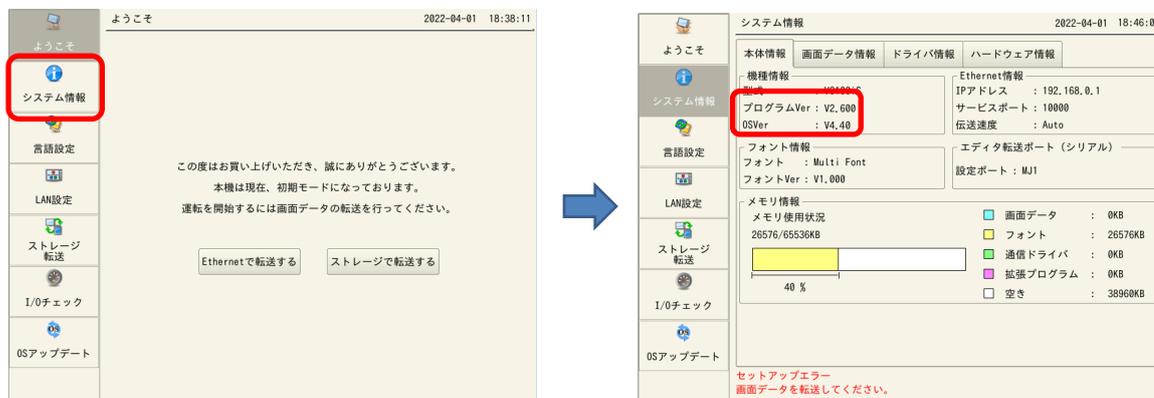


[fw.conf] ファイルを右クリック → [プロパティ] で、OSバージョンが確認できます。



⑧ ストレージを V9 本体に挿入して、V9 の電源を入れます。

- ⑨ [SYSTEM] スイッチを押して\* [システムメニュー] を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。ローカル画面に切り替わります。  
 \* Advanced モデルの場合、画面の四隅の1ヶ所を2秒以上長押し後、別の四隅の1ヶ所を2秒以上長押しすると、[システムメニュー] が表示されます。
- ⑩ 標準 OS のアップデートを実行します。「1. 中間 OS 更新手順」の手順⑦～⑪を参照ください。
- ⑪ [システム情報] 画面で、「プログラム Ver:V2. 600 以上」「OSVer : V4. 40 以上」であることを確認します。



以上で標準 OS に戻りました。画面データを転送してください。



ストレージマネージャーで OS を書き込む際、標準 OS を書き込むか短縮起動 OS (type2/type3) を書き込むかは、V-SFT の設定によって変わります。

**<標準 OS を書き込む場合>**

[システム設定] → [本体設定] → [起動方法] タブがない、  
 または [システム設定] → [本体設定] → [起動方法] タブ → 「タイプ: 標準」

**<短縮起動 OS (type2) を書き込む場合>**

[システム設定] → [本体設定] → [起動方法] タブ → 「タイプ: 短縮」、  
 「起動イメージの保存先: 本体 FLASH メモリ」  
 詳しくはテクニカルインフォメーション TI-M-0102 参照

**<短縮起動 OS (type3) を書き込む場合>**

[システム設定] → [本体設定] → [起動方法] タブ → 「タイプ: 短縮」、  
 「起動イメージの保存先: SD カード (内蔵ソケット)」  
 詳しくはテクニカルインフォメーション TI-M-0103 参照